

# めぶきアセアンレポート

## MEBUKI ASEAN REPORT

2019年8月号

- ◇ 【 シンガポール通信 】～インド市場について～ . . . . . P. 1
- ◇ 【 フィリピン通信 】～日本企業のフィリピン投資動向について～ . . . . . P. 3
- ◇ 【 アセアン駐在員コラム 】 . . . . . P. 5
- ◇ 【 アセアン各国株式市場・為替情報 】2019年7月の動き . . . . . P. 7
- ◇ 【 アセアン各国ニューストピックス 】 . . . . . P. 8
- ◇ 【 アセアン・インド休日情報 】2019年8月～2019年10月 . . . . . P. 9
- ◇ 【 めぶきアジアネットワークのご紹介 】 . . . . . P. 10

常陽銀行シンガポール駐在員事務所  
63 Market Street #11-03  
Bank of Singapore Centre,  
Singapore 048942  
TEL:65-6225-6543

常陽銀行ハノイ駐在員事務所  
5th Floor, Sun Red River,  
23 Phan Chu Trinh Street,  
Hoan Kiem District, Hanoi, Vietnam  
TEL:84-24-3218-1668

足利銀行バンコク駐在員事務所  
689, Bhiraj Tower at EmQuartier,  
27th Floor, Room No.2714,  
Sukhumvit Road, Klongton-nue, Wattana,  
Bangkok 10110, Thailand  
TEL:66-2-261-2852

本レポートの内容につきましては、当行の信頼し得る先からの情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、信頼性を保証するものではありません。具体的に法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談くださいますようお願い致します。



## シンガポール通信～インド市場について～

インドは、ポスト中国時代の有望な市場として世界各国から注目されています。シンガポール所在企業でも、インドへの進出気運が高まっており、セミナー等頻繁に実施されています。そこで今回は、成長可能性の高いインド市場の魅力についてレポートします。

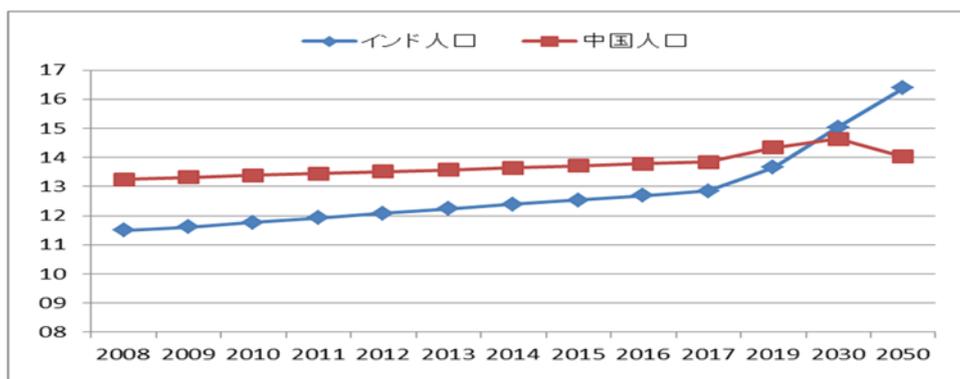
## 1. インド市場の魅力

## (1) 人口大国

世界第2位 12億の人口を有するインドは、人口増加率も高く 2030年までに中国を上回り第1位に浮上する見込みです。加えて、世界最大の生産年齢人口を抱える人口ボーナス期が 2040年頃まで持続すると予想されています。

今後 10年間で、中間所得者層の購買力も世界最大となり、長期的なインド市場成長の原動力となります。

【インドと中国の人口推移比較（単位：億人）】



(出所：国際連合)

## (2) 成長率

G20 諸国の中でも高成長を続けており、2014年以降、期によっては中国を上回る成長率を示しています。

2020年にかけて、インドの実質経済成長率は 7%を超え、2018年の 6.8%から上昇する見込みです。一方、中国は 2020年にかけて低迷が予想され、相対的にもインドの成長率の高さが際立っています。

【世界および主要国の経済成長率】

国・地域	2018年	2019年 (予測)	2020年 (予測)
世界	3.6%	3.2%	3.5%
インド	6.8%	7.0%	7.2%
中国	6.6%	6.2%	6.2%
ASEAN5カ国	5.2%	5.0%	5.1%
アメリカ	2.9%	2.6%	1.9%
日本	0.8%	0.9%	0.4%

(出所：IMF)

## (3) 地理的優位性

インドは、アジアから中東およびアフリカ市場への輸出拠点として重要な場所です。

インドは近年、中国への対抗から、アフリカ諸国への接近を強めており、全貿易額に占めるアフリカのシェアは 10%近くまで増加しています。一方、日系企業による輸出拠点と

してのインド活用は出遅れており、インド国内の競争激化を懸念する企業が増える中で、中東およびアフリカ市場を見据えた事業展開が今後重要になると考えられます。

#### (4) 人材面

インドでは準公用語として英語が広く普及しており、米国に次いで英語話者数の多い国です。例えば北部出身者と南部出身者では互いの母語が通じず、日常会話で英語が使われることも少なくないようです。ビジネスで、英語をコミュニケーションツールとして使用できることは、グローバル企業にとって大きなメリットといえます。

また、インドの高度人材は、単純なプログラムのみならず数学の知識を活用した複雑なプログラミングやシステム開発能力を有することが特徴です。日系を含む多数の外国企業が R&D 拠点を設立し、インドの高度人材を採用しています。人件費は日本の 3 分の 1 程度といわれ、単純ワーカーのみならず高度人材の調達先としても有望な市場です。

#### (5) 投資環境

インド人は起業家精神が強いといわれます。インド国内で、バイオ・医療・AI 分野を中心に年間 1,000 社を超す起業があり、米国・中国と並ぶスタートアップ大国といえます。世界中の企業が、インドのスタートアップ企業の斬新なアイデアを取り込もうと投資先を探しています。

現在、米中貿易摩擦の影響から、これまで中国に流入していたベンチャーキャピタル (VC) 資金が、東南アジアやインドに流れ始めています。なかでもインドは、新興市場でありながら透明性の高い資本主義国と見られており、注目度の高い国です。日本の VC も、ソフトバンクはじめ有望な投資先として着目しています。ただし、資金流入が潤沢な環境下、日本勢がパートナーとして選ばれるには、日本企業との連携や日本市場開拓の可能性など、相乗効果でリターンを生みだせるかなどがポイントいえます。

## 2. おわりに

インドは、今後 10 年で中国に代わる世界最大の消費地となりえます。また、ポストインド市場として期待されるアフリカ進出の足がかりとして、拠点進出ニーズが高まることも見込まれます。インドへの進出を検討しているお客様がいましたら、現地コンサル会社等紹介できますのでお気軽にお問い合わせください。

以上

【常陽銀行シンガポール駐在員事務所 駐在員 関 貴弘】

## フィリピン通信～日本企業のフィリピン投資動向について～

2019年5月下旬、フィリピンのドゥテルテ大統領が訪日し、今後日本から同国への投資が増加するとの見方が示されました。5月29日には、フィリピン政府は日本の大手企業と計26件の合意文書を交わし、翌30日に開催された商談会にはフィリピン企業50社以上が参加する等、日本企業との提携に意欲を見せています。今回は、ドゥテルテ大統領の訪日に伴う、日本企業の投資動向についてレポートします。

### 1. フィリピンへの投資に意欲的な日本企業

フィリピンの大統領広報推進戦略企画局(PC00)によると、ドゥテルテ大統領の立ち会いのもと、日本企業と対フィリピン投資について合計26件の合意文書が締結されました。内訳は、インフラ、製造、自動車、医療機器、配電、飲食など多岐にわたり、覚書(MOU)4件、基本合意書(LOI)19件、合弁事業契約(JVA)1件、フランチャイズ契約(FA)2件です。

フィリピン貿易産業省によると、丸紅が配電最大手マニラ電力(メラルコ)との合弁事業で、新都市開発「ニュー・クラーク・シティ(NCC)」の配電システムの開発などを進める計画です。自動車業界では、トヨタ自動車や三菱自動車などが、追加投資の基本合意書(LOI)を提出しました。道とん堀は、現地でのレストラン事業の展開権を譲渡するというフランチャイズ契約(FA)を締結しました。合意された内容が全て実行されれば、投資額は2,889億ペソ(約6,770億円)、約8万2,700人の雇用が創出される見込みです。これまでも企業単位でフィリピンへの投資に合意するケースは数多く見受けられましたが、企業が一堂に会し、多岐に渡る分野で合意したケースは今回が初めてです。

#### 【署名された合意文書の一部】

	日本側	概要
MOU	ケンコー・トキナー	光学機器などの生産製造施設の設定
	日本貿易振興機構	日比間の投資促進活動における協力
LOI	トヨタ自動車	部品の現地調達を拡大するための追加投資
	村田製作所	現地法人における製造能力の拡大
	イオンファンタジー	屋内テーマパーク施設への追加投資
	テルモ	医療機器の製造、販売、輸出のための追加投資
	住友電気工業	日米、北米向けのワイヤーハーネスの生産
	ローソン	コンビニ新店舗開業による投資の拡大
	三菱自動車	完成車の現地生産を支えるための追加投資
	キャノン	モノクロームレーザープリンタの現地生産の拡大
	日本電産	ハードディスクドライブなどの現地生産の拡大
	東京ガス	島嶼間液化天然ガス(LNG)のネットワークの拡大
JVA	丸紅・マニラ電力コンソー	「ニュー・クラーク・シティ(NCC)」における配電

	シナム	システムの開発
FA	道とん堀	現地「ドートンボリ・オコノミヤキ」レストラン事業の展開権の譲渡

(BDO ユニバンクからの情報を元に筆者作成)

## 2. 日本企業との連携を模索

5月30日には、フィリピン貿易産業省の主催により、日本・フィリピン企業間の商談会が開催されました。フィリピン側からは50社以上の代表者が訪日し、日本企業との連携を模索しました。

石油元売り中堅企業であるイースタン・ペトロリアムの会長は、「フィリピンのガソリン需要は年率5.0%伸びており、備蓄タンク増設などの戦略提携先を求めて商談会に参加しました。また、石油元売りとは別に塩水を活用した温泉事業を開始する計画があり、温泉大国の日本から協力を得たいと考えている。」とコメントしました。また不動産開発大手ビスタランド・アンド・ライフスケープスの社長は、「日本でのプレゼンスを高めるために来日した。現時点で日本企業との提携関係は無いが、都市開発で日本企業と提携したい。」とコメントしています。

商談会に先立って開かれたセミナーでは、フィリピン貿易産業省投資委員会（BOI）が、2010年以降の国内総生産（GDP）の平均成長率が6.5%を超えていることや他の東南アジア諸国連合（ASEAN）各国に比べ労働コストが安価であることを挙げ、日本企業にとってフィリピンへの投資が好機であるという意見を強く示していました。

## 3. 地場企業から見るフィリピン

今年2月に改正された会社法（めぶきアセアンレポート・2019年6月号に記載）が日系地場企業のフィリピン進出を後押しする一方で、PEZA（経済特区）登録企業に対する税制優遇の見直しが検討されているなど、フィリピンでの事業展開に悩みを抱いている企業もあります。しかし、今般の日系大手企業の投資に対する合意は、フィリピンに可能性を見出している証でもあり、フィリピン側から日本に対する期待の表れでもあります。

## 4. 終わりに

日本企業からの投資は今後も継続されると見られており、特に自動車、電子部品、医療機器、化学、航空宇宙といった分野が有望視されています。フィリピン現地では、引き続き日本企業の投資動向について把握し、幅広く情報発信していきます。

以上

【BDO ユニバンク マニラ駐在 鶴見 圭史】

## アセアン駐在員コラム

アセアン駐在員コラムでは、東南アジア各国で生活している駐在員や現地スタッフからの情報を毎月発信しています。



## 【シンガポール】～南国フルーツ「ドリアン」～

南国特有のフルーツで果物の王様と呼ばれるドリアンは、6月から7月、12月にシーズンを迎えます。この時期になると、ドリアンの有名ブランドの猫山王が数多く販売されます。

値段は収穫高等により変動しますが、1キロ当たり20ドル(1600円)から30ドル(2400円)で、1個平均の重さが1.5キロ程度と考えると、高級果物と言えます。シーズンになると、人気のドリアン店には予約が殺到し、受け取りにも長蛇の列が出来ます。店先でドリアンを選び、その場で食べる事も出来ます。ドリアンの濃厚な味わいと独特な匂いをシンガポールで体験してみたいかでしょうか。尚、ドリアンは匂いが強烈なため、公共交通機関、ホテルなどへの持ち込みは禁止されていますのでご注意ください。

(常陽銀行シンガポール駐在員事務所 現地スタッフ 関 順)

【ドリアンを販売している屋台】



## 【ベトナム】～ベトナム初の国産自動車について～

ベトナム初となる国産自動車メーカー「ビンファスト」が、5人乗り乗用車「ファディル(Fadil)」の顧客引渡を開始しました。「Fadil」はGM(ゼネラルモーターズ)の車両をモデルに製造され、引渡初日には800台が顧客へ引渡されました。「Fadil」の価格は4億6500万VND(約220万円)で販売され(8月31日まではキャンペーン期間中につき、3億9450万VND(約186万円)で販売)、日本販売価格の2～3倍の価格で流通する日本車や韓国車と比較しても割安な価格設定です。

「Fadil」の他には、セダン型の「Lux A2.0」とSUV型の「Lux SA2.0」も近々引渡しが開始される予定です。今後ベトナム初の国産車である「ビンファスト」の自動車が、街中を走る姿が楽しみです。

(常陽銀行ハノイ駐在員事務所 現地スタッフ グェン ティ トウイ)

【ビンファストの試運転の様子】





### 【タイ】～電動スクーターのシェアリング～

最近バンコク市内で、電動スクーターのシェアリングサービスを利用する人を多く見かけるようになりました。利用方法は、駐車スペースにある電動スクーターのQRコードを、専用のアプリで読み込むことで、誰でも簡単に利用することができます。料金については、利用時間に応じて加算される仕組みで、約10分の利用では30タイバーツ程度となります。また、1日中の利用や1週間利用が可能なプランも用意されています。

実際に乗ってみた感想になりますが、目的地に併せて乗り捨てができるなど使い勝手が良い、また、スピードが速く乗り心地も良いことから、移動手段としてとても便利であると感じました。一方で、車や歩行者と接触しそうになることも多く、安全面にはやや不安が残ります。興味のある方は、安全に気を付けて乗ってみて下さい。

(足利銀行バンコク駐在員事務所 駐在員 塚本 修平)

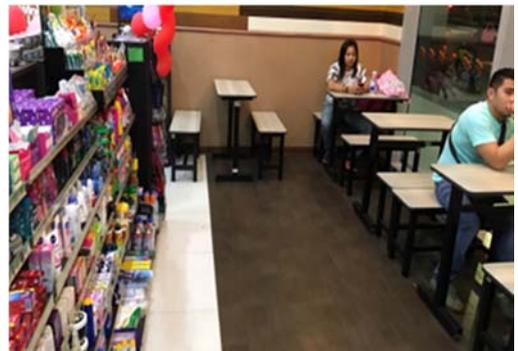
【パーキングエリアの様子】



### 【フィリピン】～コンビニ事情～

日本でも馴染みのセブンイレブンですが、フィリピンにおいても街の至る所で目にします。フィリピン全体のコンビニ店舗数は約3,500店舗であり、その内70%超をセブンイレブンが占めます。また、セブンイレブンに限らずフィリピン人のコンビニエンスストアの利用の仕方は日本人と少し違います。日本人の感覚であればいつも近くにある便利なお店という存在で、急な日用品の買い出しやお弁当を買うといったイメージですが、フィリピンでは、「食事をする場所」としての感覚がとても強く、イートインスペースが広く確保されています。利用時間は人それぞれであり、友人と談笑する姿も多く見られます。フィリピンにおいてもコンビニエンスストアが私たちの生活に欠かせない存在になっています。

【コンビニのイートインスペース】



(BDOユニバンク マニラ駐在 鶴見 圭史)

## アセアン各国株式市場・為替情報（7月）

アセアンの株式・為替市場の動向について（7月）

国	株式市場				為替市場			
	株価指数	月末株価	月間騰落額	月間騰落率	通貨単位	月末為替レート(円)	月間騰落額	月間騰落率
シンガポール	ST指数	3,300.75	▲20.86	▲0.63%	1シンガポールドル	79.16	▲0.53	▲0.67%
マレーシア	KLCI総合指数	1,634.87	▲37.26	▲2.23%	1リンギット	26.29	0.25	0.97%
タイ	SET指数	1,711.97	▲18.37	▲1.06%	1バーツ	3.52	0.00	0.08%
フィリピン	フィリピン総合指数	8,045.80	46.09	0.58%	1ペソ	2.13	0.04	1.68%
インドネシア	ジャカルタ総合指数	6,390.51	31.88	0.50%	100ルピア	0.77	0.01	1.23%
インド	SENSEX指数	37,481.12	▲1,913.52	▲4.86%	1ルピー	1.58	0.02	1.15%

出所：Bloomberg

## 【株式市場】

## ➤ シンガポール：金融緩和観測が台頭

月初、不動産関連株の上昇や資金流入期待からシンガポール ST 指数は上昇。8日に米国利下げ観測の後退を嫌気し大幅下落。その後シンガポールの金融緩和政策の台頭が投資家心理を下支えし反発するも、様子見姿勢が払拭されず、シンガポール ST 指数前月比▲0.63%で取引を終了した。

## ➤ マレーシア：金融政策や原油動向等不透明要因で軟調な推移

原油安の影響や利益確定売りに押され、下落基調で推移した。米中貿易摩擦や米金融政策、原油価格の不透明要因が重なり外部環境の悪化を背景に続落。欧米の金融緩和観測が相場を下支えするも、利下げ期待が後退しマレーシア KLCI 指数は▲2.23%で取引終了した。

## ➤ タイ：新政権発足も決算発表への失望売りで調整

1日に約10ヶ月ぶりの高値更新後、中型株が売却されるなど緩やかに下落。18日に欧州株高や好決算銘柄の物色で反発後、米利下げ期待も高まり続伸した。月末にかけ TMB 銀行の業績見通しへの失望から大幅下落し、タイ SET 指数は前月比▲1.06%で取引を終了した。

## ➤ フィリピン：預金準備率引下げや利下げ期待が高まり上昇

景気回復のてこ入れや預金準備率の段階的な引下げ方針を好感し上昇基調で推移。15日、金融緩和に前向きな姿勢を示し指数は急騰した。月後半は、税制改革や企業決算を受け調整し、フィリピン総合指数は前月比0.58%で取引を終了。

## ➤ インドネシア：政策金利引下げや首都移転などを好感

上昇基調で推移し、18日に政策金利引下げを受け大幅高となる。米株安の影響を受け下旬にかけて大幅下落するも、首都移転先の言明を受け反発した。インフラ投資の期待も高まり、ジャカルタ総合株価指数は前月比0.50%で取引を終了。

## ➤ インド：予算案や銀行決算への失望で大幅下落

米中貿易摩擦懸念の後退や原油安を受け上昇するも、19年度予算案に失望し大幅下落した。15日、利下げ期待が高まり投資家心理が改善し反発したが、銀行決算への失望や中東情勢懸念が悪材料となり反落。インド経済成長見通しが下方修正されたことも重しとなり、インド SENSEX 指数は続落し、前月比▲4.86%で取引を終了した。

【常陽銀行シンガポール駐在員事務所 駐在員 関 貴弘】

## アセアン各国ニューストピックス

## ◎経済

- シンガポール
  - ・東南アジアでM&A活況 日本企業、18年ぶり高水準 (7/4)
  - ・輸出が4カ月連続で2桁減少 電子不振、通年マイナス確実に (7/18)
  - ・フィッチが金融緩和観測でシンガポールドル安を予測 (7/25)
- マレーシア
  - ・中国による製造業投資案件、18年末で422件 (7/9)
  - ・財政赤字が39%縮小、1~5月は214億リンギ (7/26)
  - ・今年成長率4.6%に上方修正 民間消費が牽引役に (7/31)
- タイ
  - ・上場企業の海外投資が活発化 18年は6割増 (7/12)
  - ・SDGs達成度が東南アジア首位 投資誘致に弾み、タイ企業も推進 (7/24)
  - ・EEC(東部経済回廊)事務局、8月に申請のワンストップサービス (7/31)
- インドネシア
  - ・スタートアップ企業数2千社超、世界で5位 (7/15)
  - ・ジャワ島で経済特区が可能に、要望多く (7/24)
  - ・所得税率引き下げへ、課税対象項目は拡大 (7/25)
- フィリピン
  - ・2020年末に上位中所得国入り、経済開発庁 (7/18)
  - ・中国融資に慎重姿勢、金利の高さに警戒感 (7/23)
- ベトナム
  - ・国営企業の株式化、リスク高く21年まで「様子見」か (7/9)
  - ・ベトナムのFDI、香港が首位独走 米中摩擦で「加速」、域内で存在感 (7/19)
  - ・輸出額が5カ月連続でプラス 1~7月黒字維持、対中不振も (7/30)

## ◎その他

- シンガポール
  - ・ラッフルズホテル1号店、8月1日に再開業 (7/1)
  - ・訪日旅行喚起へ航空会社と提携、政府観光局 (7/19)
  - ・18年の婚姻件数4%減、2年ぶりマイナスに (7/31)
- マレーシア
  - ・首都圏で計画断水、23~26日に最大4日 (7/18)
  - ・大型小売店最大手が店舗縮小、競争激化で今年は6店以上閉鎖 (7/24)
- タイ
  - ・Eスポーツで民間投資が活況 依存症に懸念、関連法整備の声も (7/9)
  - ・雨期作米の干ばつ被害520億円 (7/25)
  - ・第2次政権の施政方針を発表 (7/26)
- インドネシア
  - ・ジョコ大統領、野党党首と和解 選挙で対立 (7/15)
  - ・新首都はカリマンタンに、大統領が8月発表 (7/31)
- フィリピン
  - ・オフィス需要でカジノ急増 首都圏、IT受託超え首位も (7/15)
  - ・クラーク新都市、低速自動運転バス走行実験 (7/25)
- ベトナム
  - ・ベトナムの人口9621万人に、国勢調査速報 (7/15)
  - ・ベトナムでクラフトビールが賑わい 「量より質」、全国に人気広がる (7/31)

(出所：各種新聞、雑誌)

## アセアン・インド休日情報

## 2019年8月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9 SG	10
11	SG ID PH 12	13	14	15 ID	16	17 IN
18	SG MY IN MY JP TH 19	20	21 PH	22	23	24 ID
25	26 PH	27	28	29	30	31 MY

## 2019年9月

日	月	火	水	木	金	土
1 MY	2 IN MY VN	3	4	5	6	7
8	9 MY	10 ID	11	12	13	14
15	16 MY JP	17	18	19	20	21
22	23 JP	24 CD	25	26	27 CD	28 CD
29 CD	30 CD					

## 2019年10月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2 ID	3	4	5
6	7	8 ID	9	10	11	12 MM
13 TH	14 MM TH JP MM	15 CD	16	17	18	19
20	21	22	23 TH CD	24	25	26
27 SG MY ID SG	28 MY	29 CD	30	31		

※ナショナルホリデーのみ掲載

出典：ジェットロ各国情報等

※祝祭日名省略

JP	日本	MY	マレーシア	TH	タイ
SG	シンガポール	PH	フィリピン	VN	ベトナム
IN	インドネシア	MM	ミャンマー	ID	インド
CD	カンボジア				

## めぶきFGアジアネットワーク

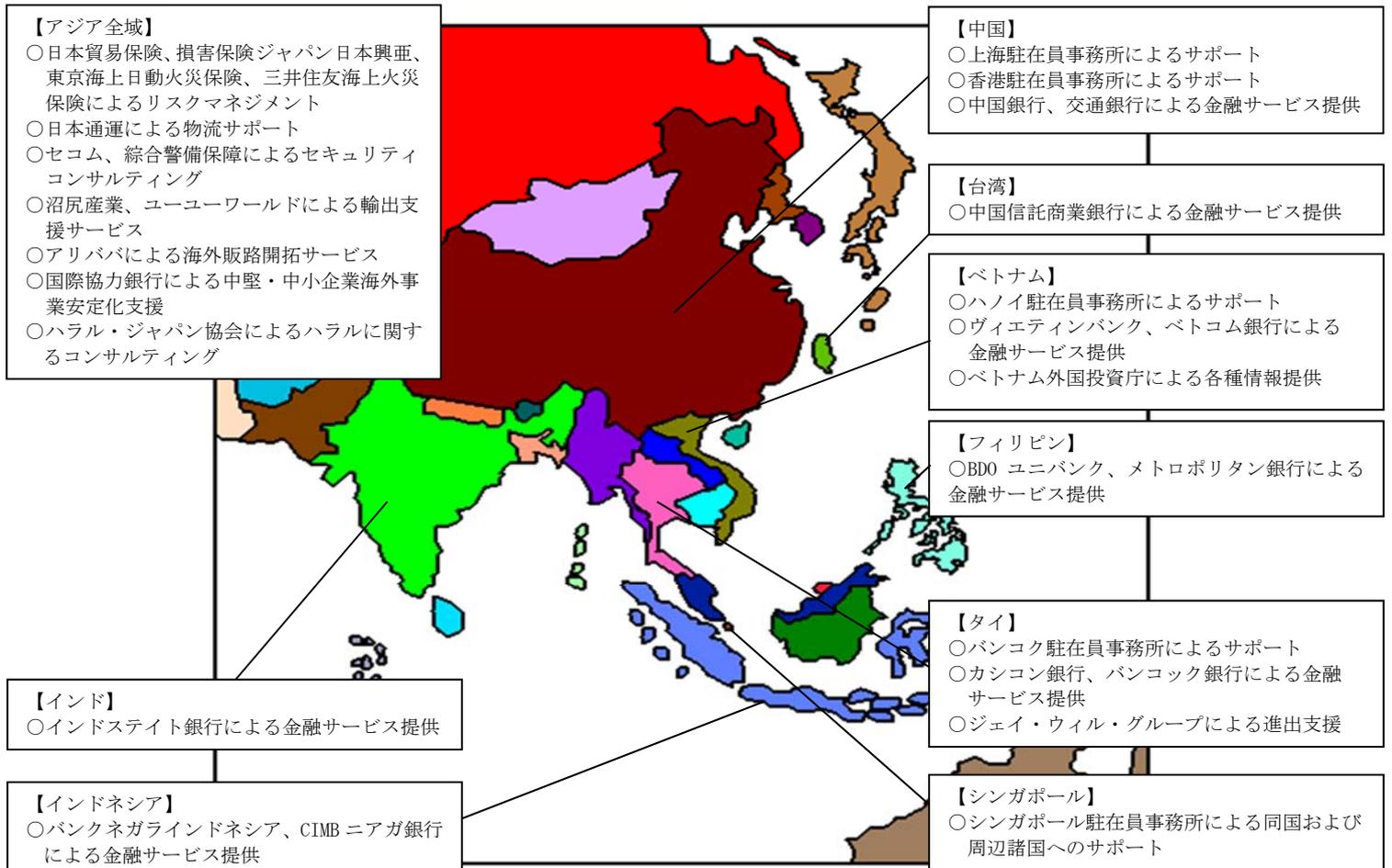
お客様の海外進出をサポートするため、様々な機関や外国銀行と業務提携を結び、支援体制の強化を進めています。

## ◎業務提携先一覧

提携先	常陽	足利	主な業務内容
中国銀行（中国）	●	●	中国国内情報の提供および各種金融サービスの提供
交通銀行（中国）	●		
中国信託商業銀行（台湾）	●		台湾情報の提供および各種金融サービスの提供
カシコン銀行（タイ）	●	●	タイ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
バンコック銀行（タイ）	●		
バンクネガラインドネシア （インドネシア）	●		インドネシア国内情報の提供および各種金融サービスの提供
CIMB ニアガ銀行 （インドネシア）		●	
ヴィエティンバンク （ベトナム）	●		ベトナム国内情報の提供および各種金融サービスの提供
ベトコム銀行（ベトナム）	●	●	
ベトナム外国投資庁 （ベトナム）	●		ベトナム関連セミナーの開催協力 ベトナム進出に関する各種支援、投資関連情報の提供
BDO ユニバンク（フィリピン）	●		フィリピン国内情報の提供および各種金融サービスの提供
メトロポリタン銀行 （フィリピン）		●	
インドステイト銀行 （インド）	●	●	インド国内情報の提供および各種金融サービスの提供
パナメックス（メキシコ）	●	●	メキシコ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
アグアスカリエンテス州政府ほか（メキシコ）	●	●	メキシコに関する現地市場調査 投資情報の提供
日本貿易振興機構（JETRO）	●	●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力機構（JICA）	●	●	途上国での海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力銀行（JBIC）	●		海外展開支援融資の提供
日本貿易保険（NEXI）	●	●	輸出取引を行う際の海外取引リスクに備える各種貿易保険の提供
中小企業基盤整備機構		●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
東京海上日動火災保険	●	●	海外リスク情報等の提供
損保ジャパン日本興亜	●	●	リスクマネジメントコンサルティングサービスの提供
三井住友海上火災保険	●	●	各種損害保険の提供
セコム	●		海外での安全システム・防犯危機商品の提供
総合警備保障	●		海外セキュリティサービスの提供

◎めぶきFG海外駐在員事務所

常陽銀行シンガポール駐在員事務所	63 Market Street, #11-03 Bank of Singapore Centre Singapore 048942 TEL:+65-6225-6543
常陽銀行ハノイ駐在員事務所	5th Floor, Sun Red River, 23 Phan Chu Trinh Street, Hoan Kiem District, Hanoi, Vietnam TEL:+84-24-3218-1668
常陽銀行上海駐在員事務所	上海市延安西路 2201 号 上海国際貿易中心 1901 室 TEL:+86-21-6209-0258
常陽銀行ニューヨーク駐在員事務所	712 Fifth Avenue, 8th Floor, New York, NY 10019 TEL:+1-347-686-8420
足利銀行香港駐在員事務所	Suite 1601, 16th Floor, Tower 2, The Gateway, Harbour City, Kowloon, Hong Kong TEL:+852-2251-9475
足利銀行バンコク駐在員事務所	689, Bhiraj Tower at Emquartier, 27th Floor, Room No. 2714, Sukhumvit Road, Klongton-nue, Wattana, Bangkok, Thailand 10110 TEL:+66-2-261-2852



## めぶきFGイベント情報

## 【FBC ホーチミン 2019 ものづくり商談会】

日程	2019年10月10日(木)～11日(金)
開催国	ベトナム：ホーチミン
会場	Phu Tho Indoor Sports Stadium
概要	<p>ベトナムでの部材調達や販路拡大を目的とする製造企業、製造企業にサービスや製品を提供するソリューション企業を対象に、商談会を開催いたします。</p> <p>Web上で商談の事前申込と顧客マッチングを行うことで、計画的かつ効率的な商談を行うことが可能となります。また、大手製造企業と直接商談できるバイヤーズエリアや、在ベトナム日系企業・ベトナムローカル企業に対し自社事業、製品をPRすることが出来ることから、新たなビジネスを創出するきっかけの場としてご利用いただけます。</p> <p>出展申込期間は2019年7月19日(金)までとなります。</p>
URL	<a href="http://fbchcm.factorynetasia.com">http://fbchcm.factorynetasia.com</a>
照会先	<p>常陽銀行ハノイ駐在員事務所 TEL +84-24-3218-1668</p> <p>常陽銀行 市場国際部 国際業務室 各担当者 TEL 029-300-2728～2730</p> <p>または、海外進出相談フリーダイヤルまで TEL 0120-5931-28</p>

## 【FBC 上海 2019 ものづくり商談会】

日程	2019年10月23日(水)～25日(金)
開催国	中国
会場	上海新国際博覧中心(上海市)
概要	<p>本商談会は、中国での販路拡大や部材調達を希望する日系ものづくり企業等を対象とする中国最大級の商談会で、約400社の出展企業が3日間にわたり自社製品等をPRし、約3千名のバイヤー来場を予定しています。</p> <p>出展対象は、自動化・ロボット、自動車関連、電子電機、環境・省エネ、機械設備など製造業全般となっています。</p> <p>ご出展を希望される方は以下の照会先までご連絡ください。</p> <p>出展申込期間は2019年7月31日(水)までとなります。</p> <p>なお、本商談会のご出展企業は、以下についても無料で出展可能となります。</p> <p>○FBC 江蘇 2019 ものづくり商談会 in 相城(2019年5月22日～23日) 蘇州在水一方大酒店(江蘇省蘇州市)</p> <p>○FBC 広東 2019 ものづくり商談会 in 南海(2019年7月24日～25日) インターコンチネンタルホテル仏山(広東省仏山市)</p>
費用	当行経由で申込の場合8,500人民元/標準コマ(約9㎡)
URL	<a href="http://www.ecfna.com.fbcs">www.ecfna.com.fbcs</a>
照会先	<p>常陽銀行 上海駐在員事務所 TEL +86-21-6209-0258</p> <p>常陽銀行 市場国際部 国際業務室 各担当者 TEL 029-300-2728～2730</p> <p>または、海外進出相談フリーダイヤルまで TEL 0120-5931-28</p>

## 【Food Japan 2019】

日 程	2019年10月31日(木)～11月2日(土)
開催国	シンガポール
会 場	Suntec Singapore Convention & Exhibition Centre
概 要	<p>Food Japan は、ASEAN 市場最大級の日本の食に特化した見本市です。</p> <p>出展対象は、農林水産品、加工食品・飲料、食器・伝統工芸品、調理器具、食品機械、店舗設備、食品素材、アグリイノベーション、ほかサービスです。ASEAN 市場の商品開発者(食品メーカー)、食品・飲料仕入れ責任者(レストランオーナー、ホテル、スーパー・小売、商社・卸)との商談の場、最終日は一般消費者へのダイレクトなマーケティングの場、販売の場として機能します。</p> <p>出展申込期間は2019年7月31日(水)までとなります。</p>
URL	<a href="http://www.oishii-world.com">http://www.oishii-world.com</a>
照会先	<p>常陽銀行 シンガポール駐在員事務所 TEL +65-6225-6543</p> <p>常陽銀行 市場国際部 国際業務室 各担当者 TEL 029-300-2728～2730</p> <p>または、海外進出相談フリーダイヤルまで TEL 0120-5931-28</p>